22/4期～26/4期における目標と実績

マテリアリティ1.地域医療への貢献

「地域全体で治し、支える」医療に貢献する薬局となる

主な取り組み	KPI	Aspirational Goal（ありたい姿）26/4期目標	実績 22/4期	23/4期	24/4期	25/4期	26/4期	評価
医薬品の適正使用を実現するため薬局に要請・期待されている役割を確実に実行し、社会が求める新しい仕組みづくりにも率先して挑戦する	認定薬局※1数	全薬局でいずれかを認定 ●専門医療機関連携薬局 ●地域連携薬局	●18薬局 ●178薬局	●23薬局 ●468薬局	●37薬局 ●593薬局	●41薬局 ●552薬局	**●48薬局 ●818薬局 （対象1,252薬局）**	●がん等、専門的な支援が必要な患者さまを支えるための「専門医療機関連携薬局」、医療提供施設と連携して治療や在宅医療を支える「地域連携薬局」の各認定は、目標は未達であったものの、目標達成に向けて前進することができた。 ●健康サポート薬局数、在宅応需件数は、目標未達ではあったものの、90%以上を達成することができた。 ●社会が薬局に要請、期待する役割を実行し、地域医療への貢献に取り組んだ。
	健康サポート薬局※2数	薬局50%以上で健康サポート薬局を認定	126薬局	171薬局	245薬局	252薬局	**614薬局 （対象1,252薬局）**	
	在宅応需件数	全薬局で在宅24件/年実施	67.9%	85.2%	85.4%	91.7%	**94.9%**	
効率的な医薬品使用及び医療サービスで医療費抑制を図り、社会保障制度の持続可能性へ貢献する	かかりつけ薬剤師数	全薬局にかかりつけ薬剤師配置	85.4%	86.2%	89.9%	90.2%	**91.5%**	●薬を継続的に管理し治療をサポートする「かかりつけ薬剤師」の薬局配置状況、GE医薬品使用率は、目標未達ではあったものの、90%以上を達成することができた。 ●かかりつけ薬剤師・薬局として、医療機関や地域と連携しながら、適正な薬物治療の推進による医療費抑制に取り組んだ。
	ジェネリック（GE）医薬品の使用率	全薬局でGE医薬品使用率85%以上を維持	57.9%	70.8%	74.7%	94.0%	**95.9%**	
災害やパンデミック等、いかなる状況下においても、社員の生命・健康を守り、医薬品及び医療サービスの提供を遂行する	BCP継続改善、実践力の強化	安否確認訓練※3報告率100%	96.0%	95.8%	99.5%	98.7%	**99.4%**	●安否確認訓練報告率は、目標未達ではあったものの、90%以上を達成することができた。 ●備蓄整備率は、災害時の営業継続を目的とした備蓄品についての店舗スペース確保が課題となっており、店舗ごとの対応策に時間を要し、進捗が遅延。目標未達となった。（アイン薬局 大手町店、アイン薬局 遠軽店にて配備済） ●災害拠点病院主応需薬局の他にも、2024年1月の能登半島地震発生時には、医療品及び医療サービスの提供を遂行し、薬剤師派遣等を実施した。
	災害拠点病院主応需薬局への備蓄整備率	災害拠点病院主応需薬局 ●全薬局で配備	—	2薬局	2薬局	2薬局	**2薬局 （対象28薬局）**	

※1. 認定薬局（専門医療機関連携薬局・地域連携薬局）：薬機法改正により2021年8月から開始された、機能別の薬局認定制度
※2. 健康サポート薬局：厚生労働大臣が定める一定の基準を満たしている薬局。かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能を備えた薬局のうち、さらに地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する薬局のこと
※3. 安否確認訓練：社員や家族、店舗状況等の安全を最優先に確認したうえで、支援体制を整え、医療サービスの継続提供を行う前提となる訓練

マテリアリティ2.美しさとすこやかさの提供

現代社会において、毎日を楽しむための美しさとすこやかさを提供する

主な取り組み	KPI	Aspirational Goal（ありたい姿）26/4期目標	実績 22/4期	23/4期	24/4期	25/4期	26/4期	評価
トレンドやニーズ、立地に対応した品揃えの店舗展開で、美しくありたい人々のエンパワーメントを図る	アプリを活用した、ユーザーへの情報提供と購入機会の提供	公式アプリ（アインズ&トルペ） ●アクティブユーザー数 100万人/月 ●ページビュー数 150万人/月	●33万人 ●56万人	●33.1万人 ●58.5万人	●36.3万人 ●49.0万人	●40.2万人 ●48.7万人	**●45.2万人 ●48.3万人**	●会員増加に向けた施策を推進し、新規会員登録数は増加したが、利用維持が課題となり、目標が未達となった。
自分らしいライフスタイルを実現する、革新的なオリジナル商品を開発する	オリジナルブランドにおけるクリーンビューティ※4商品の製造数	製造数比率50%	5.4%	4.6%	10.9%	14.8%	**32.2%**	●人と地球に優しいクリーンビューティ商品の製造数比率は、商品開発の戦略転換により目標が未達となった。 ●包装材削減によるプラスチック使用量の削減等、環境問題に取り組んだ。

※4. クリーンビューティ：体や肌に優しい成分を使用（低刺激）、自然や天然の原料を使用（ナチュラル、オーガニック）・環境配慮（エコ、クルエルティーフリー/動物実験なし）がされた美容アイテムのこと

22/4期～26/4期における目標と実績

マテリアリティ3.安全・安心と信頼

日々の業務を通じて、安全・安心と信頼を届ける

主な取り組み	KPI	Aspirational Goal（ありたい姿）26/4期目標	実績 22/4期	23/4期	24/4期	25/4期	26/4期	評価
品質・安全性・管理マネジメントシステムの継続的な改善により、品質・安全性をより強固にする	内部監査指摘状況 ●指摘のあった薬局割合 ●優良店舗割合	内部監査指摘状況 ●全薬局※5該当項目指摘 0件 ●全店舗※5優良店舗	●57.0% ●64.0%	●52.2% ●70.0%	●48.9% ●62.3%	●46.1% ●57.5%	**●48.9%** **●59.1%**	●指摘のあった薬局割合、優良店舗割合については、いずれも目標は未達となった。 ●指摘の多かった項目について注意喚起やガイドラインの周知等を実施したが、多くの課題が残り、取り組みをさらに強化する。

※5. 全薬局：ファーマシー事業の薬局店舗　全店舗：リテール事業の店舗　優良店舗：内部監査で指摘項目3つ以下の店舗

マテリアリティ4.環境保護・負荷低減

環境保護及び負荷低減へ貢献する

主な取り組み	KPI	Aspirational Goal（ありたい姿）26/4期目標	実績 22/4期	23/4期	24/4期	25/4期	26/4期	評価
温室効果ガス排出量の把握と削減を遂行する	グループ全体の温室効果ガス排出量の把握業務構築と削減	31/4期目標 Scope1・2※6におけるCO_2排出量基準年（22/4期）に対する削減率30% ●総量 ●排出量原単位※7	―	●総量 9.0%削減 ●原単位 19.4%削減	●総量 3.8%削減 ●原単位 23.9%削減	●総量 12.6%増加 ●原単位 22.0%削減	**●総量 38.6%増加** **●原単位 32.3%削減**	●温室効果ガス排出量の把握業務を確立し、Scope3も含め開示することができた。 ●排出量については、総量では企業規模の拡大により増加したが、原単位では削減することができた。
廃棄物削減による環境配慮に取り組む	医薬品の廃棄率	廃棄率0.02%以下	0.05%	0.06%	0.06%	0.07%	**0.07%**	●医薬品の廃棄率は、近年の高額医薬品使用増加等の背景もあり、目標未達となった。 ●在庫や期限の管理を実施したが、多くの課題が残り、取り組みをさらに強化する。

※6. Scope1・2：Scope1とは、事業者自らによる温室効果ガスの直接排出。Scope2とは、他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出のこと

※7. 排出量原単位：Scope1＋Scope2（t-CO_2）／連結売上高（億円）にて算出

マテリアリティ5.健全な経営基盤

健全な経営基盤を強化する

主な取り組み	KPI	Aspirational Goal（ありたい姿）26/4期目標	実績 22/4期	23/4期	24/4期	25/4期	26/4期	評価
人権に関する取り組みを推進する	人権方針の制定	人権方針の開示	制定・開示済（21/12月）	制定・開示済（21/12月）	制定・開示済（21/12月）	制定・開示済（21/12月）	**制定・開示済（21/12月）**	●方針を制定し、目標は達成した。 ●社員教育の受験率及び正答率については、目標未達ではあったものの90%以上を達成することができた。
	理解度チェックテスト※8の受験率及び正答率	●受験率100% ●正答率100%	●98.0% ●91.8%	●98.2% ●87.7%	●94.8% ●92.4%	●97.1% ●95.2%	**●92.7%** **●93.0%**	
多様な人材の採用と効果的な人材配置により、ダイバーシティ&インクルージョンを推進する	くるみん・プラチナくるみん、えるぼし・プラチナえるぼし等の認定	プラチナくるみん※9、プラチナえるぼし※10等の認定継続	―	―	●プラチナくるみん取得済（23/7月）	●プラチナくるみん取得済（23/7月） ●プラチナえるぼし取得済（24/6月）	**●プラチナくるみん取得済（23/7月）** **●プラチナえるぼし取得済（24/6月）**	●プラチナくるみん・プラチナえるぼし認定の取得、女性管理職率、LGBTに関する宣言の制定は、目標を達成した。 ●社内制度の整備・環境づくりを継続的に実施し、社員の人権・健康・活躍・成長に取り組んだ。
	女性管理職※11率	女性管理職率40%	34.0%	35.9%	36.8%	40.6%	**45.1%**	
	LGBTに関する宣言の制定	LGBTに関する宣言の開示	制定・開示済（21/12月）	制定・開示済（21/12月）	制定・開示済（21/12月）	制定・開示済（21/12月）	**制定・開示済（21/12月）**	

※8. 理解度チェックテスト：当社グループ全役員及び全社員を対象に年1回行われるサステナビリティ研修におけるテストのこと。ビジネス教養やコンプライアンス（企業倫理）、人権、社員の健康（健康経営）、情報セキュリティ、環境等のテーマで実施

※9. くるみん認定・プラチナくるみん認定：厚生労働省が、次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を「子育てサポート企業」として認定する制度
また、くるみん認定企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業は、厚生労働大臣の特例認定としてプラチナくるみん認定を受けることができる

※10. えるぼし認定・プラチナえるぼし認定：厚生労働省が、女性活躍推進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況等が優良な企業を認定する制度。えるぼし認定よりも高い水準として、プラチナえるぼしの特例認定を受けることができる

※11. 管理職：薬局長・店長以上、本部部門役職はマネジャー以上

22/4期～26/4期における目標と実績

マテリアリティ5.健全な経営基盤

健全な経営基盤を強化する

主な取り組み	KPI	Aspirational Goal（ありたい姿）26/4期目標	実績 22/4期	23/4期	24/4期	25/4期	26/4期	評価
社員の健康増進を強化する	健康経営優良法人認定※12に関する各項目	健康経営優良法人（ホワイト500）※12認定	健康経営優良法人認定取得済	健康経営優良法人認定取得済	健康経営優良法人認定ホワイト500取得済	健康経営優良法人認定ホワイト500取得済	**健康経営優良法人認定取得済**	●ホワイト500認定は、2024年と2025年に連続取得できたものの、2026年は認定には至らず、目標未達となった。 ●認定取得に向けた取り組みにより、社員の健康経営に関する基盤構築が進展し、社員の健康増進に取り組んだ。
会社情報資産の保護体制及びシステムセキュリティ対策を強化するとともに、各種規程・基準等の設定や管理体制の整備を行い、確実な運用を遂行する	セキュリティインシデント件数	セキュリティに関する重大インシデント件数0件	0件	1件	0件	0件	**0件**	●重大なセキュリティインシデント件数は、2023年に1件発生しているが、改善に向けた取り組みの実施により現在は0件と目標達成となった。 ●新しくグループ入りした企業に対しても、システムを順次導入、対応を実施する等、情報セキュリティに取り組んだ。
多様なステークホルダーとのエンゲージメントを深め、取締役会の監督機能を継続的に強化する	取締役会評価点数	取締役会評価点数 全項目4点/5点以上	平均4.0点（全項目3.7点以上）	平均4.4点（全項目3.9点以上）	平均4.3点（全項目3.8点以上）	平均4.5点（全項目4点以上）	**平均4.5点（全項目4点以上）**	●取締役会評価点数、社外取締役数、女性取締役数は、いずれも目標を達成した。 ●取締役会実効性評価から常に課題を抽出し、実行と改善、また検証を行うPDCAサイクルを回し続け、コーポレート・ガバナンスの強化に今後も継続して取り組んでいく。
	社外取締役数	社外取締役数2/5以上	1/3（4/12人）	1/3（4/12人）	1.8/5（4/11人）	2.3/5（5/11人）	**2.3/5（5/11人）**	
	女性取締役数	女性取締役数1/3以上	1/4（3/12人）	1/4（3/12人）	1.1/3（4/11人）	1.1/3（4/11人）	**1.1/3（4/11人）**	

※12. 健康経営優良法人：経済産業省と日本健康会議が共同で実施する、健康経営に取り組む優れた法人を顕彰する制度。ホワイト500は認定された大規模法人上位500に付加される

マテリアリティ6.地域社会・取引先との連携

地域コミュニティ及びサプライチェーンとともに、健康な社会づくりとサステナビリティ活動を推進する

主な取り組み	KPI	Aspirational Goal（ありたい姿）26/4期目標	実績 22/4期	23/4期	24/4期	25/4期	26/4期	評価
地域社会との調和と共生を目指し、健康活動等を通じた社会貢献を推進する	地域イベント開催数	全薬局にて4回以上/年で実施	—（計278回）	—（計275回）	実施率93.6%（計4,532回）	実施率136.5%（計6,745回）	**実施率152.0%（計7,844回）**	●地域イベント開催数は「心電計付き血圧計を用いた心房細動の早期発見イベント」や全薬局参加の「健康ハートの日」等を実施し、目標を達成した。 ●地域コミュニティへの健康教育に取り組むとともに、学会に活動報告として投稿する等、医薬分野の研究発展にも取り組んだ。
CSR調達※13の導入により、サプライチェーン全体でサステナビリティ活動を推進する	CSR調達方針・ガイドラインの制定とサプライチェーンへの周知・運用	CSR調達方針・ガイドラインの開示	—	制定・開示済（22/11月）	制定・開示済（22/11月）	制定・開示済（22/11月）	**制定・開示済（22/11月）**	●調達方針・ガイドラインの制定・開示、サプライチェーンへの説明会開催は、目標を達成した。さらにリスクが高い可能性のあった一部のサプライヤーの監査も開始した。 ●事業内容の変化に伴うサプライヤー多様化により、さらなるサプライチェーンマネジメントを強化する。
		サプライチェーンへの ●説明会の実施 ●監査の実施	—	—	説明会開催済（SAQアンケート実施済）	説明会開催済（SAQアンケート実施済）	**説明会開催済（SAQアンケート実施済）・監査開始**	
医薬品卸と協働による環境負荷軽減への体制を構築する	実施店舗における医薬品配送回数	500薬局で実施	49薬局	49薬局	49薬局	82薬局	**82薬局**	●配送回数削減による検品納品時間の削減は、目標を達成した。 ●実施店舗数とCO_2排出量は、医薬品の供給不安定等の社会環境変化を要因とし、目標未達となった。 ●今後も、働き方改革や環境配慮等、サプライチェーン全体でのサステナビリティ推進に取り組んでいく。
		配送回数削減による配送時CO_2排出量75%削減	75%削減	75%削減	75%削減	73%削減	**73%削減**	
		配送回数削減による検品納品時間75%削減	75%削減	75%削減	75%削減	75%削減	**75%削減**	

※13. CSR調達：企業が調達先（取引先・サプライチェーン）と協働で、社会や環境に配慮した責任ある調達の取り組みを進めていくこと